

咲かせよう、3つの花

- ✿ やさしさの花
- ✿ まなびの花
- ✿ がんばりの花



北九州市立筒井小学校  
文責 校長 古賀弘子

## 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文科科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

学力の定義や捉え方は様々であり、一概に論じることはできません。この学力調査もそのときの学力の一部を表しているに過ぎませんが、この結果も客観的な指標の一つであると考えます。本校では調査結果も重視し、今後の効果的な指導や学力向上につながる教育活動が実践できるように努めてまいります。ご家庭でも家庭学習の手引きなどを参考にされ、お子様の学習をご支援いただけたら幸いです。

### 1. 教科に関する調査結果の概要（A：主として「知識」に関する問題 B：主として「活用」に関する問題）

カテゴリー	学力調査の分析（傾向や特徴）
国語A	● 日常的に文章を読むことに慣れ、基本的な定着を図るため、漢字練習、読書、辞書をひく等の基本的な学習を繰り返す必要がある。
国語B	● 限られた文字数で自分の考えをまとめて書くことが苦手な児童が多い。文章の内容を的確にとらえ、自分の考えを表現することを積み重ねていく必要がある。
算数A	● 数量関係の問題を苦手とする児童が多い。計算のきまりを理解し、それをを用いて計算することができていない児童が多く見られる。
算数B	● 量と測定の問題や割合の問題で判断の理由や答えの求め方を式や文章で記述する問題の正答率が低い。立式の理由などを記述することを学習化する必要がある。

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する調査結果の概要

- 国語や算数の学習は大切だ、学習したことは将来社会に出たときに役に立つと考えている児童は多い。
- 授業では、「めあて」「まとめ」が1単位時間の中に位置付けられ、ノートにも書かれているが、「振り返り」が十分に行えていない。
- 話し合い活動で、自分の考えや意見を発表することを苦手とする児童が多い。話し合いで友達の考えを手がかりに自分の考えをもつという児童の割合が低く、話し合いの有用性を感じる経験が少ないことがうかがえる。
- 「毎日決まった時間に寝る・起きる」「朝食をとる」と回答した児童の割合が高く、基本的な生活習慣がきちんと身につけていると考えられる。
- 家庭での学習時間が1時間以下と回答した児童が半数以上いる。また、1日の生活時間の中で、テレビやビデオ、携帯電話やスマートフォンに長時間費やす児童の割合が高い。生活時間の見直しが必要である。

### 3. 調査結果から明らかになった課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

##### ○ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着

- 朝の活動「チャレンジタイム」では、曜日ごとに内容を決めて全校一斉に同じ取組を行う。（月曜日：算数 火曜日：読書 水曜日：計算 木曜日：造形 金曜日：音読・視写）
- 3年生以上は、基礎基本定着シートや診断テストを効果的に使用する。
- お互いの意見を出し合うことで自分の考えを深められるよう、学習の中に「話し合い活動」を位置付ける。
- 授業の終末で児童が学んだことを振り返ることができるよう、教師が「振り返り」の時間を確保する。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

##### ○ 家庭学習の充実

- 家庭学習や読書の時間が少ない児童の割合が高いので、家庭学習の手引きを作成して各家庭に配布し、家庭学習の仕方について知らせる。
- 自主学習については、学年に応じた学習内容を知らせ、個に応じた学習に取り組めるようにする。

##### ○ メディアとの接触時間の再考

- 携帯電話やスマートフォンの使い方については、児童と保護者が共に学ぶ「ネットによるいじめ防止」講演会を行う。
- テレビやゲーム、スマホなどのメディアとの接触時間など、家庭での過ごし方について、学校通信や学級通信、懇談会等で保護者へ協力を呼びかける。